

事業番号	09 07 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農村の農業活動と活性化を支援する事業				部局	農政部	課・室	農村振興課	
					実施期間	H12 ～	E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	③社会増減								
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見		6-1 個性豊かな地域づくりの推進						

1 現状と課題

- ・中山間地域では、人口減少や高齢化が都市部以上に進行し、農業の後継者や担い手が不足し農業生産活動の継続が困難になることが懸念される。
- ・棚田の保全活動や複合経営の実践等、中山間地域の特色を活かした営農と所得の確保が必要である。

2 事業目的

農村地域において、持続的な農業生産活動により農村コミュニティが維持されるとともに、農村の多様な資源を活用した都市農村交流や高付加価値農業など農業者の主体的な取組を支援し、農村の活性化を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①中山間地域農業直接支払事業の活用を促進
- ・集落の将来像を明確化し、今後も農業生産活動の継続が図られるように協定集落における「集落戦略」の作成を支援
 - ・協定参加者の減少や高齢化、担い手不足といった課題に対応するため、加算措置による農業生産活動の継続を支援
 - ・棚田地域振興法に基づく「認定棚田地域振興活動計画」に基づいて、棚田地域の振興活動を行う集落協定を支援（「棚田地域振興活動加算」を受ける農地のうち超急傾斜農地を対象に、「超急傾斜地棚田加算」を新設）
- ②農山村地域での都市住民との交流や定住に必要な施設整備による地域活性化
- ・地域連携販売力強化施設（ワイナリー等）の整備を農山漁村振興交付金により支援
- ③中山間地域の農村コミュニティを維持強化するため地域の特色・特産品を活かした活動を促進
- ・集落住民が主体となって取り組む地域特産品等を活用した交流・販売促進活動を支援
 - ・地域別農業振興計画に基づく地域の営農・販売戦略の策定や体制整備など、所得向上に向けた市町村等の活動を支援
 - ・農村集落機能を補完する農村RMOが行う実証事業等や中間支援組織の育成を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	集落等が中山間地域で農業生産活動等を行う協定面積	ha	9,082	9,176	↗	9,220	↗	9,500	未達成	令和4年度所要額調査に基づく設定	
②	都市農村交流人口	人	173,853	198,849	↗	349,370	↗	690,000	未達成	第3期食と農業農村振興計画にて目標を設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	1,360,132	△ 74,402	1,285,730	448,106	1,278,154	9.0
R3年度	0	1,337,761	△ 75,368	1,262,393	446,997	1,258,792	9.0
R2年度	0	1,299,990	△ 215	1,299,775	472,994	1,225,023	9.0

事業番号	09 07 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農村の農業活動と活性化を支援する事業		部局	農政部	課・室	農村振興課	

6 主な取組実績と成果

① 中山間地域農業直接支払事業の活用を推進

市町村担当者を対象とした研修会等により、本事業の周知や協定農用地の維持・拡大を呼び掛けたほか、集落の話し合いに基づく5年以上継続して行われる農業生産活動の支援を実施した。（69市町村 1,019協定）

② 農山村地域での都市住民との交流や定住の促進に必要な施設整備による地域活性化

農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）により、飯山市で道の駅の拡張工事（1,240㎡）及び付帯施設の整備を実施し、都市農村交流機能の強化を図った。また、同事業により、東御市根津御堂地区でワイナリー（522.18㎡）の建設工事を実施し、新たな都市農村交流の場として運用を開始した。同地区の直売所（158㎡）整備については、令和5年度に繰越。

（※国直接採択で実施されたため、県から事業実施主体への交付はなかった。）

③ 中山間地域の農村コミュニティを維持強化するため地域の特色・特産品を活かした活動を促進

農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）により、小谷村、栄村の2村における農村型地域運営組織（農村RMO）の形成に向けた取り組みを支援した。2村とも取り組みの初年度であり、まずは地域の住民が話し合いや勉強会を行い、地域の目指す姿を描いた「将来ビジョン」を策定した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標① 集落等が中山間地域で農業生産活動等を行う協定面積	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
------------------------------	--------	---	--------	---	------	-----

市町村担当者を対象とした研修会等により、本事業の周知や協定農用地の維持・拡大を呼び掛けた結果、第5期対策の中間年ということもあり、目標は達成できなかったものの、前年度から24ha増加した。

指標② 都市農村交流人口	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
--------------	--------	---	--------	---	------	-----

都市農村交流人口は、新型コロナによる行動制限が始まった令和2年度に著しく落ち込んだが、以降は観光農園の受け入れ再開等により、回復傾向となっている。令和4年度時点では目標達成に至っていないものの、令和2年度の約2倍まで増加した。

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・平地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利である中山間地域においては、耕作放棄地の増加による農業・農村の多面的機能の低下と地域が一体となって農道・水路を維持管理する力の低下を防ぐことが重要となる。
- ・新型コロナ禍による都市農村交流人口の減少が顕著であったため、アフターコロナにおける集客回復に向けた方策が重要となる。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・市町村担当者を対象とした研修会等を行うことにより、幅広く本事業の周知を図り、協定集落の維持・体制強化及び協定面積の拡大を促進するとともに、農村集落の活性化を支援していく。
- ・農村RMO形成に向けた活動をより強力に支援するため、中間支援組織を設置する。地域の話し合い等に中間支援組織に所属する専門家を派遣することで、地域資源活用等を推し進め、特産品の創出による都市農村交流の活性化を図る。

事業名	農村の農業活動と活性化を支援する事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
-----	---------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	中山間地域農業直接支払事業	1,212,500 千円	1,237,700 千円	1,260,947 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中山間地域農業直接支払事業交付金	交付金	中山間地域の協定面積等に応じた交付金（交付先：市町村） 【市町村数：69 面積：9,220ha 協定数1,019 金額：1,253,913千円】	
2	中山間地域農業直接支払事業推進交付金	交付金	当該事業を行うための事業費（交付先：市町村） 【金額：5,644千円】	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	山村等振興対策事業	1,029 千円	5,558 千円	8,853 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農山漁村振興交付金 （農山漁村発イノベーション対策のうち農山漁活性化整備対策事業）	交付金	市町村が行う農山村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進事業（直売所、集出荷・貯蔵・加工施設、交流施設等の整備）への支援 農産物直売所、ワイナリー等、農村活性化のための施設を2市で実施。	
2	農山漁村振興交付金 （中山間地農業推進対策のうち農村RMO形成推進事業）	交付金	農村集落機能を補完する農村地域づくり協議会（農村RMO）が行う農林地保全、地域資源活用、農山漁村生活支援にかかる調査、行動計画策定、実証事業や中間支援組織の育成等を支援 取組市町村2村、将来ビジョンの策定件数2件、交付金額8,405,333円	
3	農村活力創出支援事業	補助金	農村集落住民が主体となって取り組む地域資源を活かした農業生産活動、都市住民との交流活動等への補助 取組市町村1市1村、シードル試飲会の実施2回、耕作放棄地再生活動38a、補助金額448,000円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	中山間地農業ルネッサンス推進事業	11,494 千円	15,534 千円	8,354 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中山間地農業ルネッサンス推進事業	交付金	中山間地域の特色を活かした、地域別農業振興計画を深化させる取組、及び農業生産活動を地域活性化につなげるモデルを創出するための取組への支援 県現地機関による支援活動：10広域、取組市町村：1市1町1村1団体、補助金額：県1,998,975円・市町村6,355,000円	